



「3Dスキャナ型 三次元測定機」を導入

TSKNEWSをご覧いただき、誠にありがとうございます。今回は「3Dスキャナ型 三次元測定機」のご紹介です。近年、製品に求められる品質が高まっていますが、TSKではその品質要求レベルに対応するべく3Dスキャナ型 三次元測定機を昨年11月に導入致しました。三次元測定機を導入したことで、精度の求められる製品の初品検査や長期に亘って使用されている金型の定期点検などが高精度で実現可能になっております。

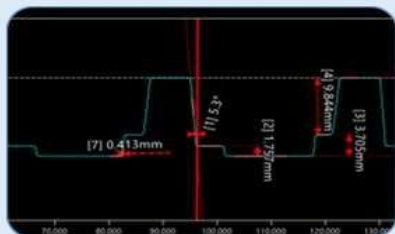
TSK品質保証



光を照射することで測定対象物の凹凸を把握し、値として反映します。
スキャンしたものは3D化されるので、3Dデータの任意の箇所を測定し、記録として残すことが可能です。
測定したデータは設計精度や製品精度の充実に反映します。
測定機能は大きく分類して①2D測定、②3D測定、③比較測定の3つです。
測定・分析したい箇所に合わせて、それぞれを使い分け、TSKは高品質を保証致します。

多彩な機能であらゆる箇所を測定・分析

2D測定



自由に基準面を設定
多方向から詳細測定

測定機能

- ・断面測定
- ・平面測定
- ・高再現性測定
- ・2D-CAD
DXF出力対応

3D測定

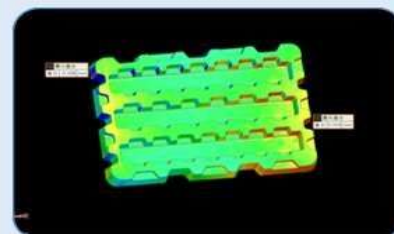


迅速に正確な測定
問題解決へ

測定機能

- ・3D測定
- ・座標測定
- ・幾何公差測定
- ・分割表示機能

比較測定



形状変化をカラーで
見える化(図面⇄製品)

測定機能

- ・CAD比較測定
- ・現物比較測定
- ・厚み測定
- ・3Dカラーイメージ